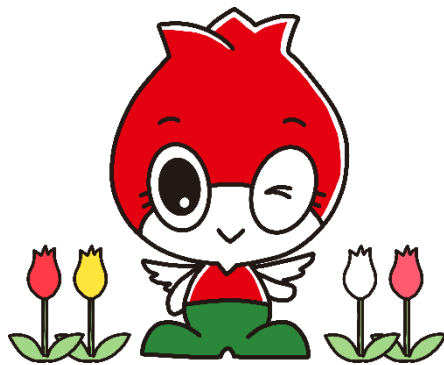


令和5年度

行政懇談会

今年度のひえづの重点事業を知ろう



日吉津村

もくじ

総務課	1
総合政策課	2
住民課	3
福祉保健課/福祉事務所	4
こども園/子育て支援センター/児童館/ファミリー・サポート・センター	
建設産業課	6
教育委員会事務局	7
ヴィレステひえづ	8
新型コロナ臨時交付金に伴う事業一覧	8
日吉津村の財政状況	9
日吉津村の人口・世帯	10

自治会別 行政懇談会日程

日吉津上1	8月6日(日)	10:00~
日吉津上2	8月21日(月)	19:30~
日吉津下口	8月20日(日)	13:30~
海 川	8月26日(土)	19:30~
富 吉	7月29日(土)	19:30~
今 吉	8月27日(日)	①13:30~ ②19:30~
樽 屋	8月6日(日)	19:30~

総務課



防災訓練の様子

重点①

自主防災組織の活性化と防災無線機能の多重化

昨年度、防災士間の連携強化やスキルアップを目的とした「日吉津村防災士連絡協議会」を立ち上げました。新たに4人の女性防災士が誕生し、26人で活動を進めています。各自主防災組織との関わりもさらに進めていき、安心安全な村づくりを進めて行きたいと考えています。

また、今年度は住民の皆さまへの情報伝達の強化を目的とした「防災行政無線機能強化」工事を進めており、今後、戸別受信機だけでなくスマホ等のアプリを使用した防災無線放送の受信が可能となります。また整備後10年が経過した防災行政無線の親局及び各子局、戸別受信機、各公民館に整備している地区遠隔装置についても新基準のものに更新します。

重点②

村民との対話・情報提供を大切に

新型コロナウイルスの影響により、説明会の開催などの住民の皆さまへの直接的な情報提供ができる機会や対話ができる機会が減ってきていましたが、新型コロナウイルスが5類になったことをうけ、防災無線や広報誌だけでなく積極的に説明会を開催するなど、村民と対話できる場を大切にしていきます。

また、住民の問題に対して意見を聴き、適切な解決策についての情報提供や行政サービスを行うために、職員の知識向上や接遇の見直しなどの職員研修を年次的に行っています。

重点③

村財政の適正な管理・健全な運営

村は村民の税金や国の交付税、国県支出金、地方債などさまざまなお金で運営していますが、新規の建設事業などによる将来への負担が大きくなっています。また、歳出の多さから、村の財政力指数は年々低下しています。

大切なお金をどのような事業に使っていくか、その効果を考え、既存事業の見直しを行いつつ将来への財政シミュレーションを行うなど、財政の適正な運営を行っています。

総合政策課

重点① 自治会・コミュニティ・ボランティア活動の支援

今後も日吉津村を活気ある村として存続させていくためには、村民の皆さま一人ひとりが村づくりへ参画し、協働して、事業を進めていくことが大切です。

そのためには、近年新たな団体も生まれている様々なボランティア活動へ、幅広い世代の参加を呼びかけ、自治連合会や支援スタッフなどを通じた意見交換・課題提起、広報を活用したイベント告知など、自治会やコミュニティへの支援に積極的に取り組んでまいります。

重点② 地方創生総合戦略 ～国道 431 号沿道の賑わいを～

総合戦略の「人口の将来展望」では、2060 年に本村の人口 3,600 人を維持することを目指し、移住定住、結婚支援、子育て、農業・産業の活性化、人がつながるコミュニティづくり等の各種施策に取り組んでいます。

国道 431 号沿道は大型商業施設が開店したことで、賑わいのある地域となりました。今後も交通利便性を活かしたまちづくりを進め、沿道や営農・居住環境が調和した、良好な市街地形成に取り組む必要があります。

村では、国道 431 号沿道の商業開発を、地区計画の導入により進め、村民の皆さまの利便性向上に取り組んでまいります。

重点③ 海浜エリアの活性化の実現

海浜運動公園や海岸松林など、海浜エリア一帯のさらなる活性化を図るため、海浜エリア活性化検討委員会や庁内プロジェクトチーム、村民の皆さまからの御意見をもとに検討を進め、令和 5 年 3 月末に「海浜エリア活性化計画」を策定しました。

活性化計画の早期実現と海浜運動公園の魅力化に向けて、官民連携手法の可能性調査や民間企業の参入意向確認など、公園を整備する諸条件の把握や、関係機関との検討・協議に取り組んでまいります。

住民課

重点① 男女共同参画の推進

男女共同参画社会の実現は、性別にかかわらず誰もが生きやすい社会をつくることであり、国・県・市町村や地域・企業が一体となって進めて行くべき課題です。

村では、昨年度にアンケート調査を実施しました。

（無作為抽出により 1,000 人に送付。回答 397 人。）

この結果を踏まえ、本年度に「男女共同参画計画」を策定する計画です。

重点② ごみ減量化の推進

一人当たりのごみ量は、令和 2 年度をピークに減少傾向となっています。

R 1 : 210kg R 2 : 212kg R 3 : 210kg R 4 : 209kg

「燃えるごみのうち 3 割程度が水分である」と言われていますので、燃えるごみの水切りの徹底を図り、引き続き減量化にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

次の商品購入に係る補助制度を設けていますのでご利用ください。

- ・電気式生ごみ処理機（補助率 1/3、上限 2 万円）
- ・コンポスト（補助率 1/2、上限 5 千円）

重点③ 再生可能エネルギーの活用

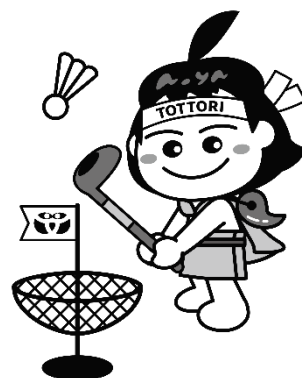
村では、平成 21 年度から家庭用太陽光発電設備の導入補助制度を開始し、令和 4 年度までに 150 件（731kW）の補助を行いました。

また、令和 4 年度からは、家庭用蓄電池に対する補助制度も設け、再生エネルギーの導入を推進しています。

- ・太陽光発電システム補助金（1 kW 当たり 36,000 円、上限 5kW）
- ・蓄電池補助金（1 kW 当たり 7 万円、上限 40 万円）
- ・太陽熱温水器（1 件当たり 2 万円）

福祉保健課

総合福祉支援室 包括支援センター 福祉事務所



ねんりんピック
はばたけ鳥取2024

咲かせよう 砂丘に長寿と 笑みの花

令和6年10月19日(土)～22日(火)

重点① ささえあいの村づくり ～よろず相談所の開催～

誰もが地域において役割を持ち、互いに支え合いながら、住み慣れた場所で安心して暮らすことができる村づくりを推進するため、村民の皆さまや各種関係機関と連携し、ささえあいの村づくり推進してまいります。

総合福祉支援室や福祉事務所では、生活や福祉に関する福祉相談窓口を設置しています。相談に必要な支援に結び付けていくために、専門の相談機関、関係機関がそれぞれ協力し、伴走型の相談支援を行っています。

また、地域包括支援センターでは、ヴィレステひえづや各自治会公民館等でシニア向けよろず相談所を開催する予定です。お気軽にご参加ください。

重点② 重層的支援体制整備事業

この事業は、市町村において、既存の相談支援や地域づくり支援の取組みを活かし、子ども・障がい・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制では対応しきれないような地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」等を一体的に実施するものです。

村では、令和5年度から村民の皆さまや行政、地域福祉活動団体、ボランティア、福祉事業者など地域に関わる方々と協働して、地域共生社会の実現に向けた取組みを目指し、事業実施に向け検討を開始しています。

ミライトひえづ（複合型子育て拠点施設）

- ★ひえづこども園
- ★日吉津村児童館
- ★子育て支援センター
- ★ファミリー・サポート・センター

重点① 一人一人を大切にする保育の充実

保育を通じて、子どもたちの生きる力・学ぶ力の土台を育んでいきます。「遊びきること」で心地よい満足感や達成感を味わい、その経験が自信になって自己肯定感を育みます。そのためには職員が「子ども一人一人の姿をしっかり看ること」で主体的に遊んでいるか、興味や関心はどこを向いているのか等子どもの育ちをとらえて支援していきます。保育士も園内外の研修を重ね、より良い保育に取り組んでいきます。

重点② 子育て支援センター等での活動の充実

親子の居場所として、子育て支援センターへの期待が大きい中、コロナで自粛していた活動の回復にとどまらず、利用者のニーズに応じた新たな活動の開拓に努めていきます。また、これから子どもを持つ方や男性など利用者の幅を広げる取り組みも取り入れ、子育てのコミュニティや情報が得られる場所となるよう活動を充実していきます。

健康対策室/健康相談健診センター

重点 心と体の健康を育む環境整備の推進

健康寿命の延伸を図るために、村民自らが健康づくりに取り組む意識を持つことと、それを支援する体制を充実させることが必要となります。様々なニーズに合わせて、テーマを決めての健康チェックや講話、相談会などをヴィレステひえづや他機関との協働で実施したり、健康づくりイベントを開催するなど、健康に関する普及啓発を行い、さらには事後相談の充実を図り、健康改善につなげます。

建設産業課

重点①

農業と農地を次世代につなぐ～がんばる地域プラン～

村の宝である豊かな農地とそこで営まれる農業を次世代に引き継いでいくため、令和4年3月に策定した「日吉津村農業将来ビジョン」の実現に向けた施策の一つとして、県の補助事業（がんばる地域プラン事業）を活用し、各種事業を年次的に推進していきます。

●よろず相談窓口設置 ●アグリマイスター・村認定耕作者の認定 ●農作業お助け隊設置 ●広報の充実 ●環境維持支払交付金 ●地力向上等支援事業 ●村の宝づくり事業 ●踏んばる農家プラン事業 など

重点②

道路事業

県道日吉津伯耆大山停車場線の一部区間（上1自治会内）について、県と連携し歩道整備を進め、歩行者・車いす等が安全に通行できるように早期完成を目指します。

国道9号から国道431号区間の日野川右岸堤防に、新たな道路の整備を計画しています。工事着手予定である令和6年度に向けて県と連携し進めてまいります。

村道温泉線の舗装を修繕し、車両等の安全な通行を確保してまいります。

重点③

公共下水道の適正な維持管理

○下水処理場で発生する汚泥を処理するための移動脱水車が老朽化しているため、更新を行い、引き続き円滑な事業の実施（3町村共同実施）を図ります。

○河川氾濫等における下水道施設の被害による影響を最小限にするため、短期・中期的に確保すべき機能を定める「耐水化計画」を策定します。

○全国的に広域化・共同化の検討が進むなか、県西部地区においても、施設の統合や事務の統合など、検討を進めます。

教育委員会 事務局



第4回日吉津村子ども釣り大会(2022.9.9)

重点① 人権尊重のむらづくり

- 村人権・同和教育推進協議会の活動を計画的に進めます。
- 新型コロナの影響で、4年間活動が制限されました。
- 一人ひとりが人権について正しい理解を深め、自他を大切にする人権感覚を磨く機会を設けます。

重点② 子どもたちに寄り添った教育の実現

- 地域とともにある学校づくりを推進し、豊かな体験活動をとおして、子どもたちの心を育みます。
- 分かる授業づくりの研究を推進し、基礎基本の確実な定着を図ります。
- スクールソーシャルワーカー（SSW）を中心に、組織対応を充実させます。
- 教育支援センター（ぷらっとルーム）を中心に児童への支援を充実させます。
- A L Tの村単独配置を活かした英語を体験する活動を充実させます。

重点③ 民俗資料館の活用と、文化・芸術活動の振興

- 施設の複合化により、令和4年度から民俗資料館はミライトひえづ「展示・交流室」と陶芸・倉庫棟「収蔵室」の2カ所に機能をおくことになりました。
- ミライトひえづと連携し、「展示・交流室」が村民の交流の場となるよう、イベント等を企画・運営します。
- 文化・芸術の振興について、村内にどのような人材や活動があるかを整理し、芸術家やその作品に親しむ機会を設定します。

ヴィレステ ひえづ



重点①

中高生の地域での活躍を応援

令和4年度に中学生サークルの活動を開始しました。村の皆さまにも協力いただき、中学生が活躍できる場面づくりや、中学生が日吉津村でやりたい事の応援をしています。令和5年度は、中学生の力を必要としている事業のボランティアをしながら、「中学生がやりたい事」+αで「自分たちもハッピー、村もハッピー」を目標に活動します。高校生からの参加希望もあり、高校生が活躍できる場面づくりも進める予定です。

重点②

年代に応じた読書活動の推進

赤ちゃんからシニアまで、各年代に応じた読書活動の支援をしています。中高生向けには課題図書コーナーや、働き世代のビジネス支援や大人の学びなおし、大活字本などシニアが生涯読書を楽しめる環境づくりなど、誰もが利用しやすい図書館になるように努めています。

また、ひえづ出前図書館は月2回村内8か所を巡回し、図書館に来館できない方などへ図書の貸出をしていますので、こちらもご利用ください。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

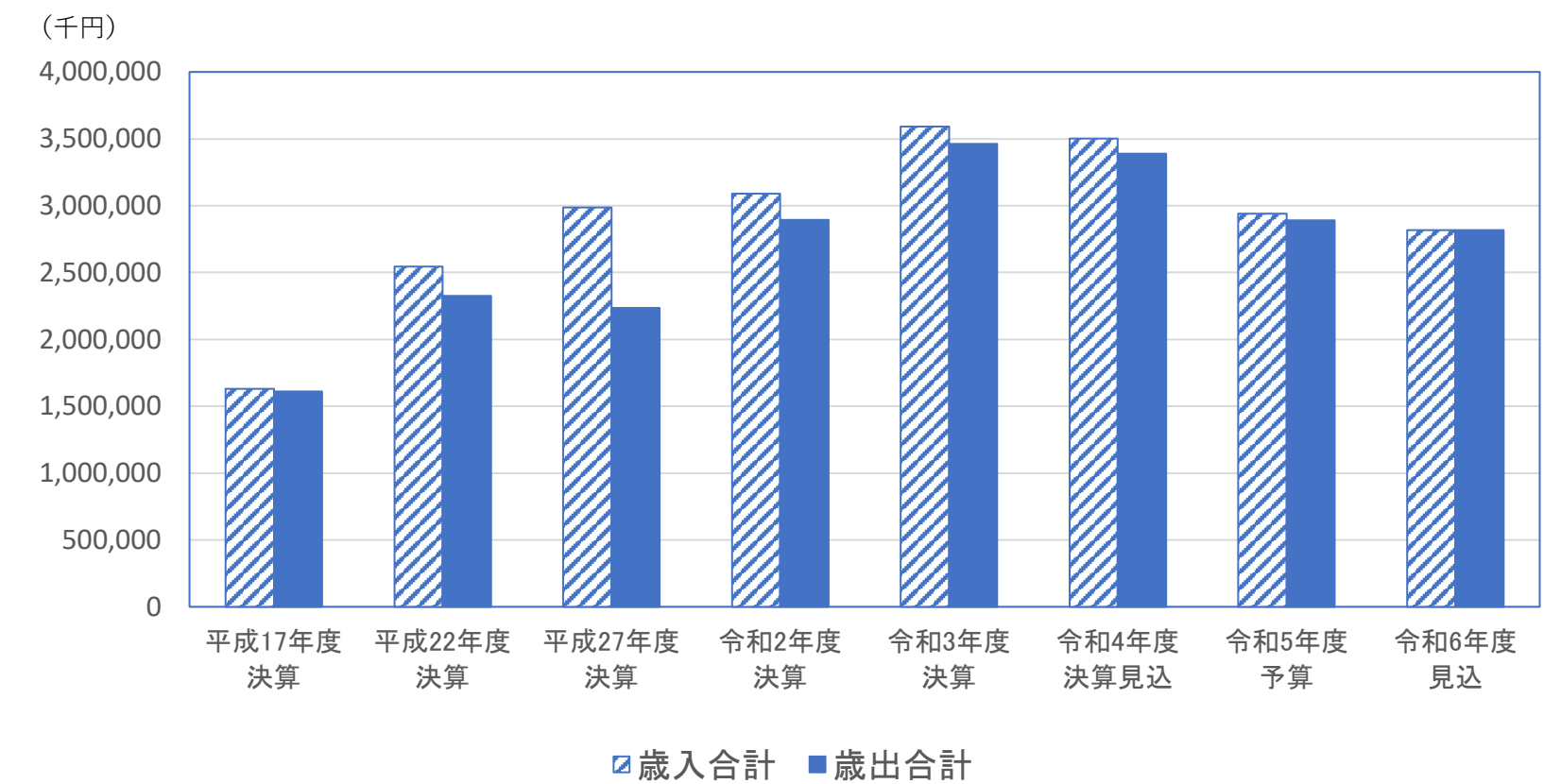
(電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金)に伴う事業一覧

令和5年度予算のうち、新型コロナに関する国の交付金をもとに実施する事業です。

<住民への支援など>

- SDGs 推進事業（宅配ボックス購入支援補助金） 300 千円
対象額 30,000 円（上限）×1/2＝補助額 15,000 円（20 件予定）
- 物価高騰対策ひえづ元気回復商品券事業 18,612 千円
補助額 5,000 円（500 円×10 枚）×村民 3,650 人（予定）
- 非課税世帯へのエアコン等光熱費助成金 7,693 千円
補助額 17,000 円×225 世帯（非課税世帯）×2回

日吉津村の財政状況



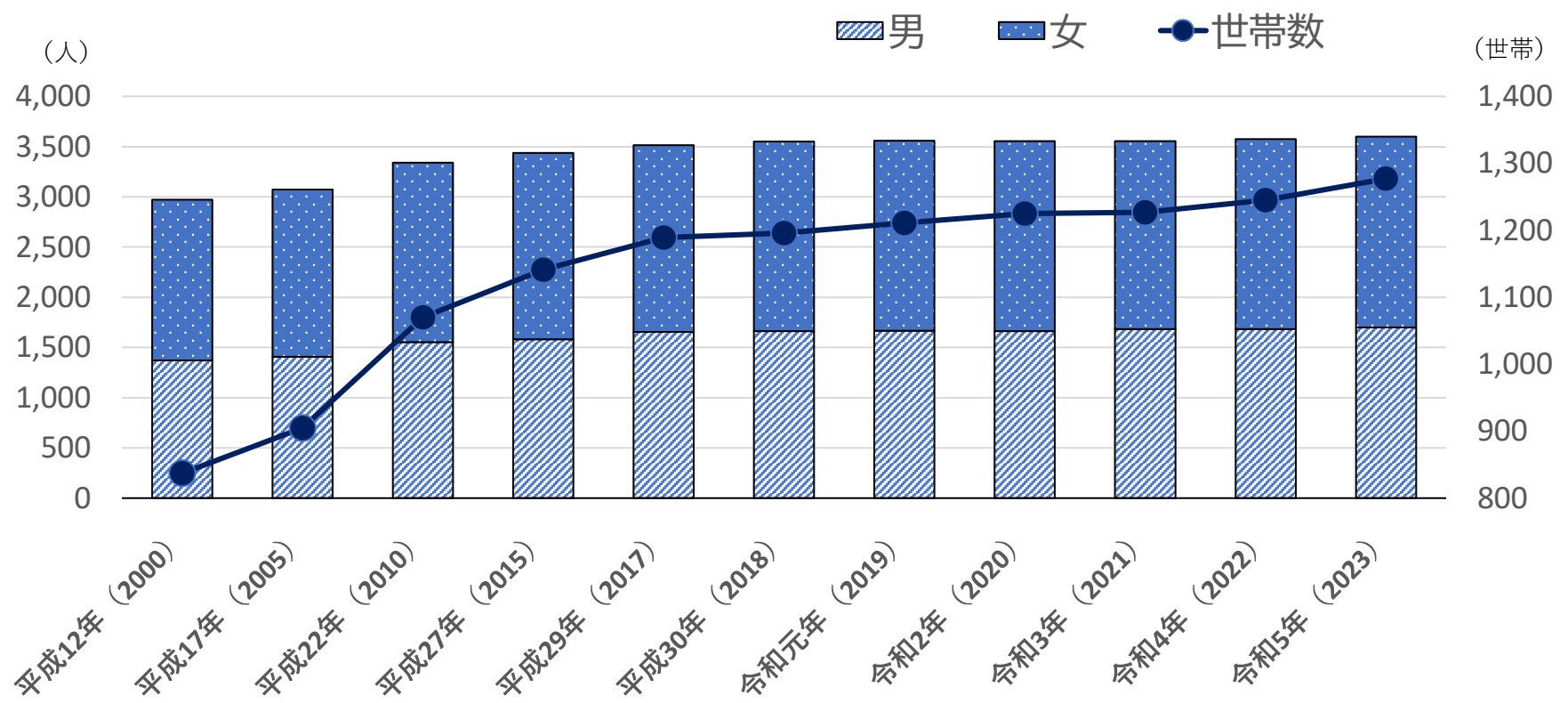
(千円)

歳入	平成17年度 決算	平成22年度 決算	平成27年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算見込	令和5年度 予算	令和6年度 見込
村 税	983,111	1,093,829	957,347	895,168	895,176	908,171	909,056	909,056
分担金及び負担金	44,834	40,313	43,571	103,573	93,882	89,537	99,606	89,537
使用料及び手数料	25,090	23,180	27,861	36,297	42,376	38,769	42,175	38,769
財 産 収 入	1,741	3,635	5,583	6,570	80,475	13,051	6,616	6,616
諸 収 入	21,240	44,232	21,624	25,906	22,883	29,060	30,103	29,060
繰 入 金	0	0	52,590	58,090	167,376	80,932	138,462	80,932
寄 附 金	0	565	11,178	117,582	97,277	72,665	95,032	72,665
繰 越 金	63,353	189,277	641,511	165,172	196,203	127,654	16,329	300,203
地方譲与税・交付金	84,733	66,722	73,366	105,583	129,264	130,265	128,916	128,916
地 方 交 付 税	87,899	320,792	361,940	542,134	711,653	771,512	668,608	668,608
国 庫 支 出 金	75,692	236,782	154,911	756,681	404,607	364,671	315,133	215,133
県 支 出 金	78,785	206,517	293,265	141,924	147,163	174,184	168,798	141,924
村 債	162,700	317,676	343,100	135,792	602,535	700,605	320,005	135,792
歳 入 合 計	1,629,178	2,543,520	2,987,847	3,090,472	3,590,870	3,501,076	2,938,839	2,817,211

(千円)

歳出	平成17年度 決算	平成22年度 決算	平成27年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算見込	令和5年度 予算	令和6年度 見込
人 件 費	423,582	450,376	477,426	592,252	595,165	642,694	696,080	726,961
扶 助 費	90,117	175,197	309,777	436,545	434,667	439,453	453,327	453,327
公 債 費	207,954	186,262	183,239	248,277	258,030	262,989	272,253	267,862
普通建設事業費	184,542	426,394	209,620	182,517	661,943	909,403	321,748	209,620
物 件 費	247,934	347,016	393,654	408,746	390,681	396,329	445,549	471,549
維持補修費	6,160	22,452	9,732	10,580	9,339	11,319	20,440	20,440
補助費等	283,430	336,352	405,330	806,486	578,541	506,074	462,495	464,495
貸 付 金	11,869	8,893	3,130	4,202	3,172	4,073	7,469	7,469
繰 出 金	155,202	164,427	143,417	130,994	121,570	144,996	151,252	135,870
そ の 他	24	208,662	99,403	73,670	410,108	72,669	59,618	59,618
歳 出 合 計	1,610,814	2,326,033	2,234,727	2,894,269	3,463,216	3,389,999	2,890,231	2,817,211

日吉津村の人口・世帯



	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)
男 (人)	1,371	1,407	1,554	1,583	1,655	1,663	1,667	1,663	1,683	1,684	1,700
女 (人)	1,600	1,666	1,785	1,856	1,859	1,887	1,892	1,891	1,871	1,891	1,899
総人口 (人)	2,971	3,073	3,339	3,439	3,514	3,550	3,559	3,554	3,554	3,575	3,599
世帯数 (世帯)	837	905	1,070	1,141	1,189	1,196	1,211	1,225	1,227	1,245	1,277

※出典:国勢調査(平成12年～平成27年)、住民基本台帳の1月1日時点(平成29年～令和5年)

自治会別世帯推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
日吉津上1	170	163	162	165	156	168	169
日吉津上2	156	165	173	169	171	172	174
日吉津下口	295	292	298	307	314	319	322
海川	151	150	156	156	159	155	165
富吉	145	146	148	149	149	149	155
今吉	249	257	251	257	256	260	269
樽屋	23	23	23	22	22	22	23

※出典:住民基本台帳の1月1日時点

